

ベーシックセミナー①

さあどうする結核対策 ～結核の基本から実践まで～

司会

福島県立医科大学 感染制御学講座 教授 金光 敬二 先生

山形健康福祉部

医療統括監

阿彦 忠之 先生

「低蔓延下の結核の疫学と対策
～早期診断と潜在性結核感染症対応の留意点～」

弘前大学 教授

保健管理センター 所長

高梨 信吾 先生

「インターフェロン γ 遊離試験(IGRA)の解釈と
潜在性結核感染症(LTBI)治療」

仙台赤十字病院

呼吸器内科 部長

三木 誠 先生

「当院における結核院内感染対策
～発病高リスク患者への取り組み～」

福島県立医科大学附属病院

感染制御部 副看護師長

小針 朱子 先生

「当院におけるインターフェロン γ 遊離試験(IGRA)を
用いた結核職業感染対策の取り組み」

日時:2017年8月26日(土)9:30～11:30

会場:仙台国際センター 3階 第4会場『白櫃1+2』

さあどうする結核対策 ～結核の基本から実践まで～

抄録

結核は、世界3大感染症の1つであり、最も死亡者数の多い感染症です。

本邦では結核患者は年々減少が続いており、「昔の病気」と考えられがちですが、2015年の罹患率(人口10万人対)は14.4と低蔓延国の基準である10を上回っており、中蔓延国に位置付けられております。他の先進諸国が低蔓延国入りを果たしている中、遅れをとっているのが現状です。本邦では、2020年に低蔓延国化を目標としており、そのためには、結核患者の早期診断・治療、既感染高齢者の発病予防、国民への結核の教育・啓発活動、院内感染対策等、我々が取り組む課題はまだ多いのです。

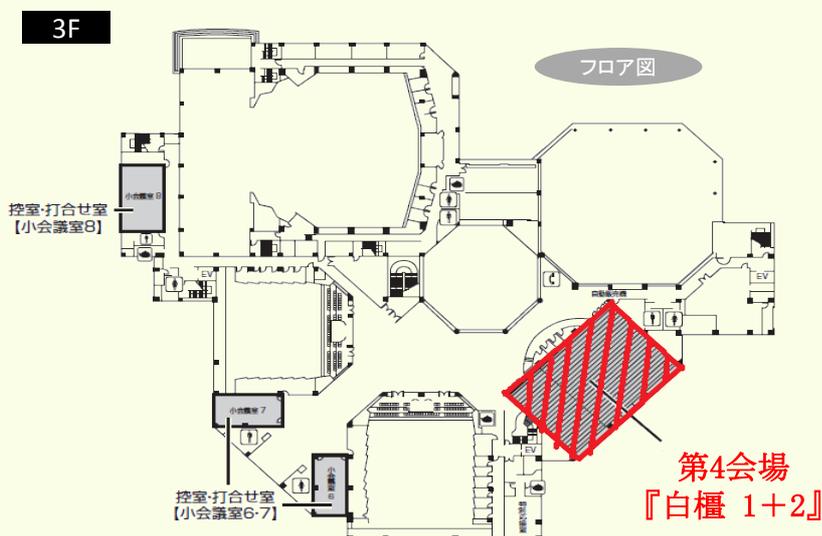
東北エリアにおける2015年の結核罹患率(人口10万人対)は、山形県7.3、秋田県・宮城県8.5、福島県9.8、岩手県10.6、青森県13.9と全県で全国平均を下回っております。しかしながら、結核は既感染者の免疫低下により発病することも多く、高齢者は結核発病のリスクファクターの一要因であることも事実であり、どの医療機関・診療科でも結核患者に遭遇する可能性があることから、引き続き既感染者の早期診断、適切な治療を行う必要があります。

本セミナーは、臨床で結核と向き合う4人の先生方より疫学、検査・診断、結核治療のポイント、臨床での感染対策についてご講演頂きます。結核治療に関する基礎から臨床での対策を網羅することにより、自施設での結核対策を改めて考える良い機会になるものと考えております。明日からの結核感染対策にお役立てください。皆様のご参加をお待ちしております。

アクセス

第4会場『白樫 1+2』 仙台国際センター 3階

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地



◆飛行機でお越しの場合

- ・[仙台空港]より仙台空港アクセス鉄道にて[仙台駅]へ
- ・[仙台駅]より仙台市営地下鉄東西線にて[国際センター駅]へ
- ・[国際センター駅]より徒歩1分

◆電車でお越しの場合

- ・[仙台駅]より仙台市営地下鉄東西線にて[国際センター駅]へ
- ・[国際センター駅]より徒歩1分

◆タクシーでお越しの場合

- ・[仙台空港]より約50分
- ・[仙台駅]より約7分